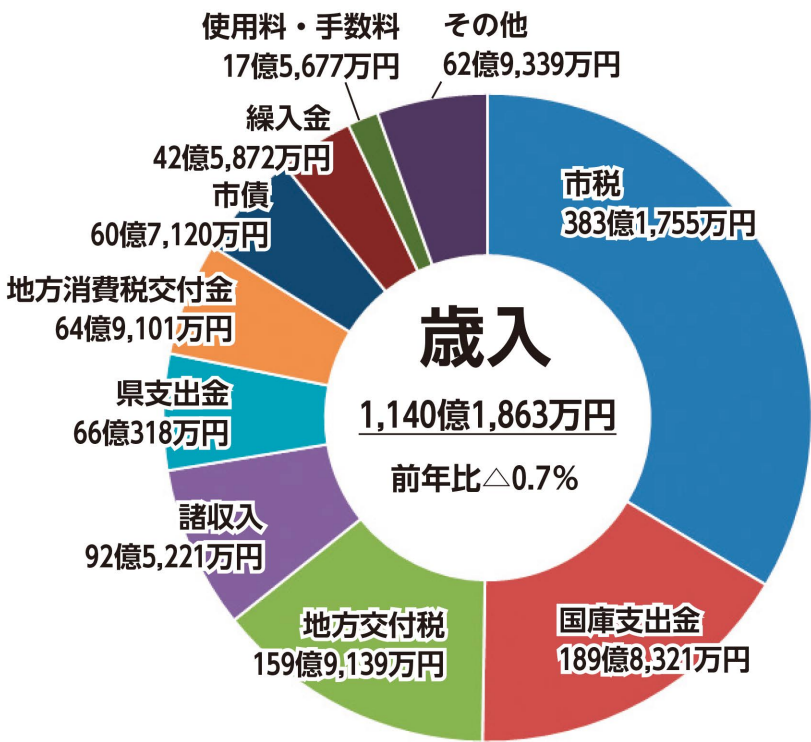


令和 5 年度松本市決算報告

●問い合わせ 財政課 (☎34-3273 ㊟33-1877)

一般会計歳入



市税：市民税・固定資産税など
国庫支出金：国から支出された負担金・補助金・委託金
地方交付税：一定水準の行政サービスを維持できるように国から配分されたお金
諸収入：貸し付けたお金の回収金や市預金の利子など
県支出金：県から支出された負担金・補助金・委託金
地方消費税交付金：消費税のうち、地方に配分されたお金
市債：道路や施設建設などのために借り入れたお金
繰入金：基金を取り崩したり、特別会計から繰り入れたりしたお金
使用料・手数料：市営住宅の家賃や、施設使用料など
その他：不要な土地を売り払った代金や、前年度からの繰越金など

特別会計

特定の事業を行う場合、または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づき設置している会計で、松本市には11の特別会計があります。令和5年度は、黒字が8会計、収支同額が3会計（歳入不足のため翌年度歳入から繰上充用した市街地駐車場事業を含む）となりました。

会計名	歳入	歳出	差引額	会計名	歳入	歳出	差引額
母子父子寡婦福祉資金貸付金	2,748万円	1,586万円	+1,162万円	公設地方卸売市場	6億8,664万円	6億8,664万円	0円
霊園	2億4,637万円	1億588万円	+1億4,579万円		2億2,252万円	2億4,460万円	△2,208万円
地域排水施設事業	1億141万円	9,473万円	+668万円	市街地駐車場事業	※歳入不足額を翌年度歳入から繰上充用		
国民健康保険	232億6,982万円	227億5,098万円	+5億1,884万円		差引額計		
後期高齢者医療	34億6,229万円	33億4,659万円	+1億1,570万円	奈川観光施設事業	1億5,897万円	1億5,897万円	0円
介護保険	226億6,457万円	222億4,060万円	+4億2,397万円	松本城	13億9,928万円	11億3,093万円	+2億6,835万円
農業集落排水事業	1億2,076万円	1億1,301万円	+775万円				

企業会計

民間企業と同様に利用料金などの事業収益で運営される会計で、松本市には4つの企業会計があります。令和5年度は黒字が4会計となりました。

会計名	総収益	総費用	当年度純損益
水道事業	50億332万円	49億5,256万円	+5,076万円
下水道事業	69億9,958万円	63億9,460万円	+6億498万円
病院事業	55億8,530万円	52億568万円	+3億7,962万円
上高地観光施設事業	4億5,044万円	4億2,694万円	+2,350万円

市債残高

松本市の市債残高は、1,006億923万円で、前年度末と比べて40億円の減となりました。このうち、一般会計は691億1,288万円で、前年度末と比べて28億円の減、特別会計・企業会計は314億9,635万円で、前年度末と比べて12億円の減となりました。

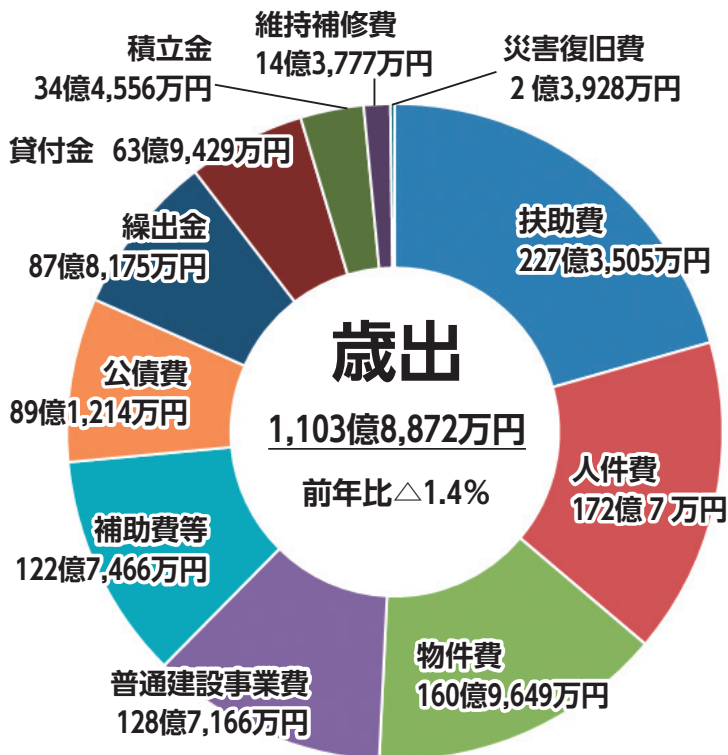
一般会計の形式収支は、36億2,991万円

(翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、27億9,792万円)

歳入は、市税が前年度比（以下同）2.1%の増となった一方、基幹博物館の整備完了などにより市債が16.2%の減となったことから、全体では0.7%減少しました。

歳出は、自立支援福祉事業費の増などにより扶助費が1.7%の増となった一方、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の減などにより物件費が9.5%の減、基幹博物館の整備完了などにより普通建設事業費が11.6%の減となったことから、全体では1.4%減少しました。

一般会計歳出



扶助費：生活保護費、児童手当など社会保障に関するお金

人件費：職員の給料や退職金、議員や各種委員の報酬など

物件費：公共施設の維持管理に必要な光熱水費、委託料など

普通建設事業費：道路・学校・保育園・体育施設など、公共施設の建設費

補助費等：団体や事業への補助金など

公債費：借入金の返済（元金と利子）

繰出金：国民健康保険や介護保険など、特別会計へ支出したお金

貸付金：中小企業への貸付金など

積立金：基金の積立金

維持補修費：道路や公共施設の補修費

災害復旧費：災害等で被害が出た道路などの復旧費

財政指標

◆健全な財政状況（健全化判断比率）

財政の健全度を示す指標は次のとおりです。いずれも早期健全化基準や財政再生基準を下回っており、健全な財政状況にあることを示しています。

指標名	松本市		早期健全化基準	財政再生基準
	5年度	4年度		
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	16.25%	30.0%
実質公債費比率	3.6%	3.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担なし	将来負担なし	350.0%	

実質赤字比率：普通会計（一般会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計、霊園特別会計）の赤字額の割合

連結実質赤字比率：市全体の赤字額の割合

実質公債費比率：市税等の標準的な収入額のうち、市全体の借金返済額の割合

将来負担比率：将来返済がほぼ確実な借金などの残高のうち、市税等で負担する割合

資金不足比率：事業規模に対する資金不足額の割合

◆公営企業も資金の不足なし（公営企業の資金不足比率）

松本市には、公営企業に分類される会計が9会計（水道事業など4企業会計と、地域排水施設事業など5特別会計）ありますが、資金不足を生じている会計はありませんでした。